



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月7日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成28年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	1,800	△1.1	196	0.2	208	△8.5	134	△8.5
28年5月期第1四半期	1,819	19.7	195	206.3	227	184.1	146	267.1

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 △38百万円 (-%) 28年5月期第1四半期 194百万円 (630.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	17.85	-
28年5月期第1四半期	19.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第1四半期	13,914	11,521	82.5	1,523.87
28年5月期	14,347	11,673	81.0	1,543.43

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 11,478百万円 28年5月期 11,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	-	15.00	-	15.00	30.00
29年5月期	-	-	-	-	-
29年5月期(予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年5月期年間配当金の内訳 第2四半期末 記念配当2円、期末 記念配当2円

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,630	0.5	320	△6.2	335	△16.7	215	△21.1	28.54
通期	7,625	2.1	750	△5.1	785	△10.3	510	△14.5	67.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期1Q	7,811,728株	28年5月期	7,811,728株
② 期末自己株式数	29年5月期1Q	279,372株	28年5月期	279,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期1Q	7,532,356株	28年5月期1Q	7,532,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済ですが、米国経済は引き続き堅調に推移し、欧州経済も6月の英国のEU離脱問題の影響は限定的となり緩やかな回復基調で推移しております。中国経済は新常态に向けた政策運営等により経済成長は鈍化傾向にあり、新興国経済も資源価格の下落の影響等もあり厳しい状況が継続しております。わが国経済ですが、企業の設備投資が緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外経済の先行き不透明な情勢や円高による国内企業収益への影響等が懸念されます。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野は研究開発予算の執行が徐々に進む中、光学要素部品や光学ユニット製品の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、スマートフォンの製造サイクルと連動した国内・アジア地域の携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界等においては設備投資に活かな動きが見られ、組込み用の光学要素部品や光学システム製品の需要は堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界や医療業界向け組込み用光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野を中心とした光学要素部品の需要は横ばいで推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、光学設計、機械加工、自動制御、電気回路等の中核技術の複合・融合した製品開発の強化、耐環境性や高安定性等を備えた高付加価値製品の販売促進、ワンストップでのソリューション提案の強化、適正な納期・価格・品質によるお客様満足度の最大化に注力いたしました。又、引き続き生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18億円（前年同期比1.1%減）、営業利益1億9千6百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益2億8百万円（前年同期比8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千4百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野において、研究開発予算の執行が進む中、需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野の製造・検査装置組込み用においては、国内における研究開発投資や設備投資に回復の動きが見られた結果、需要は堅調に推移いたしました。スマートフォンの製造サイクルと連動した国内・アジア地域の携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界向けやモバイル用FPD業界向けには、レーザ加工機・検査装置組込み用の自動位置決め製品及び光学素子製品の需要が堅調に推移いたしました。米国地域を中心にバイオ業界、医療業界向けや半導体業界向けの組込み用の光学素子製品の売上は堅調に推移いたしました。又、欧州地域の研究開発分野及び産業分野向けの光学素子製品については、売上が横ばいに推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は15億4千9百万円（前年同期比1.1%増）となり、営業利益は3億3千万円（前年同期比14.6%増）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、民間企業向け研究開発分野において、国内産業分野における研究開発投資・設備投資について回復の動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。産業分野においては、国内・アジア地域を中心に、スマートフォンの製造サイクルと連動した携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。又、バイオ業界向けは、光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品の引き合いが緩やかながら増加傾向にあります。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は2億5千1百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業損失は3千4百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%減少し、76億4千9百万円となりました。これは、現金及び預金が3億7千5百万円減少し、棚卸資産が3千2百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、62億6千5百万円となりました。これは、投資有価証券が2千8百万円増加し、機械装置及び運搬具が4千3百万円、建物及び構築物が3千5百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、139億1千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.8%減少し、15億9百万円となりました。これは、賞与引当金が8千1百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億1百万円、未払法人税等が8千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、8億8千3百万円となりました。これは、長期借入金が2千6百万円減少したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.5%減少し、23億9千2百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、115億2千1百万円となりました。

自己資本比率は、82.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,875,198	2,499,504
受取手形及び売掛金	1,897,027	1,847,391
電子記録債権	172,414	216,895
有価証券	672,599	640,379
商品及び製品	946,472	951,286
仕掛品	277,336	268,675
原材料及び貯蔵品	962,718	998,676
繰延税金資産	123,040	136,035
その他	85,274	94,345
貸倒引当金	△4,243	△4,134
流動資産合計	8,007,838	7,649,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	934,438	898,898
機械装置及び運搬具(純額)	446,370	403,328
土地	1,321,741	1,321,741
その他(純額)	135,156	130,220
有形固定資産合計	2,837,706	2,754,189
無形固定資産		
その他	173,108	169,857
無形固定資産合計	173,108	169,857
投資その他の資産		
投資有価証券	596,962	625,166
繰延税金資産	150,015	143,927
投資不動産(純額)	2,049,454	2,038,697
その他	545,785	546,738
貸倒引当金	△13,467	△13,142
投資その他の資産合計	3,328,751	3,341,388
固定資産合計	6,339,566	6,265,434
資産合計	14,347,405	13,914,490

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,586	826,031
短期借入金	183,000	157,000
未払法人税等	184,129	97,311
賞与引当金	6,334	87,725
役員賞与引当金	13,750	—
受注損失引当金	6,924	10,086
その他	450,591	331,042
流動負債合計	1,772,316	1,509,197
固定負債		
長期借入金	66,000	40,000
退職給付に係る負債	624,885	633,090
その他	210,711	210,538
固定負債合計	901,597	883,628
負債合計	2,673,913	2,392,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,914,736	5,936,268
自己株式	△204,094	△204,094
株主資本合計	11,426,144	11,447,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,560	113,180
為替換算調整勘定	160,511	△21,856
退職給付に係る調整累計額	△62,500	△60,603
その他の包括利益累計額合計	199,570	30,719
非支配株主持分	47,776	43,267
純資産合計	11,673,492	11,521,663
負債純資産合計	14,347,405	13,914,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	1,819,892	1,800,012
売上原価	1,090,084	1,102,480
売上総利益	729,807	697,531
販売費及び一般管理費	534,039	501,377
営業利益	195,768	196,153
営業外収益		
受取利息	3,233	3,185
受取配当金	54	150
不動産賃貸料	42,020	24,189
持分法による投資利益	7,267	12,025
その他	2,995	5,409
営業外収益合計	55,572	44,960
営業外費用		
支払利息	992	545
不動産賃貸費用	21,508	19,193
為替差損	522	12,891
その他	642	157
営業外費用合計	23,665	32,788
経常利益	227,674	208,325
特別損失		
減損損失	1,103	—
特別損失合計	1,103	—
税金等調整前四半期純利益	226,571	208,325
法人税、住民税及び事業税	102,923	89,059
法人税等調整額	△25,080	△16,371
法人税等合計	77,842	72,688
四半期純利益	148,728	135,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,785	1,119
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,943	134,517

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	148,728	135,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,125	11,620
為替換算調整勘定	38,584	△187,997
退職給付に係る調整額	673	1,896
その他の包括利益合計	45,382	△174,479
四半期包括利益	194,111	△38,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,322	△34,333
非支配株主に係る四半期包括利益	2,789	△4,509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,532,837	287,054	1,819,892	—	1,819,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	1,348	1,387	(1,387)	—
計	1,532,876	288,402	1,821,279	(1,387)	1,819,892
セグメント利益(又は損失)	288,399	6,446	294,845	(99,077)	195,768

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△1,387千円、全社費用△97,690千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システム製品事業」セグメントにおいて、生産設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,103千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,549,402	250,609	1,800,012	—	1,800,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	437	698	1,135	(1,135)	—
計	1,549,839	251,307	1,801,147	(1,135)	1,800,012
セグメント利益(又は損失)	330,595	(34,061)	296,533	(100,379)	196,153

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△1,135千円、全社費用△99,244千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。